



▲いせきくん、やよいちゃんが表紙になります

8月に入ってようやく日本全国の梅雨があけました。最近の夏の気象は、カンカン照りが続く地域があるかと思えば、局地的な豪雨で多くの被害が出ている地域もあります。屋外での過ごし方には十分な注意が必要です。

◆7月17日に「播磨町暮らしの便利帳」共同発行の協定書を(株)サイネックス社と締結しました。これは官民協働事業で、住民の方々が日常生活で知りたい行政情報を始め、医療、店舗などの地域情報を満載したまちの情報誌となります。経費はすべて広告代で賄われ、行政の負担はありません。電子化が進む社会にあっても、まだまだそれに馴染めない方々も多くいらっしゃいますが、この「暮らしの便利帳」を、お茶の間に一冊常備していただき、日常的に、また緊急時にもご活用いただければと思っています。(同時に電子書籍化され、パソコンやスマートフォンでも閲覧できるようになります)各ご家庭には全戸配布し、公共的な機関や転入時などにもお渡ししたいと思っています。配布は来年1月の予定です。お楽しみに。

◆7月の終わりに、兵庫県町村会で宮城県の上元町、石巻市、南三陸町などの被災地を訪問しました。東北地方はまだ梅雨が明け切らず、雨模様の被災地でひととき目立つのは、無数のダンブが行き交う光景でした。南三陸町では、女子職員が最後まで町民に避難を呼びかけたという防災センターにも立ち寄りしました。骨組みだけになってしまった建物の前には、献花台が設けられていました。市街地がなくなってしまう今となっては、この防災センターは海から余りにも近く、いっそう悲しみが増しました。山を切り拓いた地で病院や仮庁舎が再開され、復興に向けての努力が続けられていますが、全国各地に避難された方々が戻られる日は…。

播磨町長 清水ひろ子



夏休み子どもチャレンジ教室を実施

スポーツクラブ21はりま ☎079(437)2201

7月23日と24日の2日間にわたり、播磨町と朝来市の小学生が交流し色々な体験をする、夏休み子どもチャレンジ教室が実施されました。



1日目の朝来市では、県立内水面漁業センターでアマゴのつかみ取り体験やオリジナル下敷きを作る体験などをして楽しんでいました。つかまえたアマゴは、塩焼きにして食べました。アマゴは頭から食べられると聞いて、多くの子どもがチャレンジしていました。夜にはキャンプファイヤーを行い、炎を中心に心が1つになったようでした。

2日目には、播磨町にある飲料水工場を見学し、県立考古博物館でミニ講座や物づくりなどを行いました。

2日間のチャレンジ教室で播磨町の子どもたちと、朝来市の子どもたちは仲良くなり、一回り大きくなったように感じました。

夏休みおもしろ教室 ～海と空の約束～

すこやか環境グループ ☎079(435)2721

8月1日から10日まで、毎年恒例の夏休みおもしろ教室を開催しました。4日の環境絵本の教室では、先生と兵庫県立大学の学生による「海と空の約束」の紙芝居を見て、海をきれいにするためにどのようなことをすると良いかを考えました。その中で、空、海、川、山すべてが繋がっていて、どれひとつ汚してはいけないことも分かりました。

スライドでは、先生の40歳の自転車、50歳の水筒、70歳の机が登場し、物を大事にすることも資源とエネルギーの無駄遣いを減らすことになるのだと学びました。



参加者からは、緑を増やす、給食を残さない、車の使用回数を減らすなど、たくさんの意見が出され、親子で環境についてじっくり考えることができました。

楽屋裏
今回の表紙で、私が撮った写真が使われることになりました。トピックスの記事にもなっている、夏休み子どもチャレンジ教室に取材に行ったときに撮った写真です。
初めは緊張もあり、笑顔の写真が撮れませんでした。しかし、話しかけ続けると笑顔を見せてくれるようになり、結果的に表紙に使われました。
これからも、表紙などで広報はりまに載せられるような写真を撮ってきたいと思います。(穂)

中央公民館七夕まつり

中央公民館 ☎079(437)6980

7月15日、中央公民館恒例の七夕まつりを開催しました。当日は、朝から雨のあいにくの天気でしたが、



子どもから大人まで約340人の方でにぎわいました。

7月8日からロビーに置いていた笹は、来館者が願いごとを書いた色とりどりの短冊でいっぱいになっていました。

オープニングに、手遊び・七夕の歌を歌い、その後、ヨーヨーつり、スーパーボールすくい、輪投げ、魚つり、ストラップづくり、折り紙、バルーンアート、紙芝居の各コーナーに分かれ楽しみました。たくさん笑顔があふれ、楽しい時間が流れました。

これからも季節の行事を伝えていきたいものです。



山元町からの手紙

今回は山元町にある「カフェ地球村」を紹介します。

被災された方々の“心の健康回復をお手伝いする場”というコンセプトで、2012年11月から精神的に障がいのある方々をメインスタッフに運営が始まった「カフェ地球村」。ゆったり急がず、とても丁寧なおもてなしが本当に癒されます。

イチゴジャムのクッキーサンドやアップルパイなど山元町の特産品を使ったスイーツも美味しい! 内装もとってもオシャレ! 山元町で一番お気に入りの場所です。

廣岡千春



※震災復興支援のため、播磨町職員が宮城県亘理郡山元町に派遣されています

ふれあいフェスタ2013

はりまデザインラボ ☎079(437)0141

7月14日に県立東はりま特別支援学校、県立播磨南高等学校、はりまデザインラボの共催による「ふれあいフェスタ2013」が県立東はりま特別支援学校で開催され約800人の参加者がありました。

会場では、生徒やPTAなどによる模擬店「ふれあい市」や遊びをテーマとした「遊び広場」、自分で出来る防災をテーマとした「防災展」、兵庫大学チアダンス部

や、いせきくん・やよいちゃんによるダンスなどが実施され、大盛況でした。



わんぱくはりまっこ

生後2ヵ月



4歳

やまざき しゅんすけ 山崎 紇介くん(左)、ゆうすけ 結介くん(右) (野添城)

兄弟仲良くすくすくと育ててね! 二人は宝物です♡ お母さんより

※平成24年10月撮影時の年齢です。